

経営比較分析表（令和4年度決算）

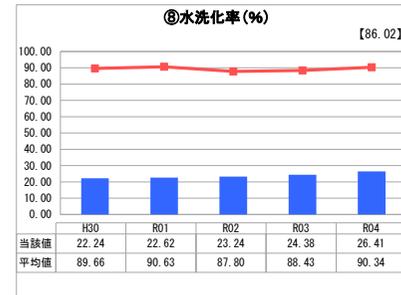
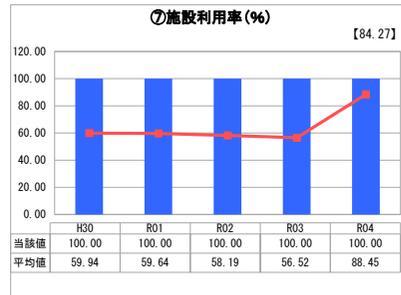
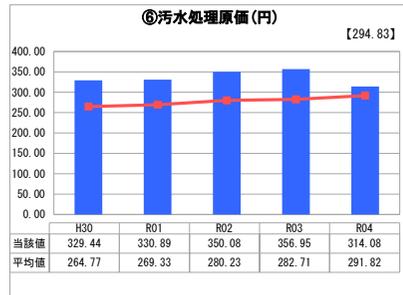
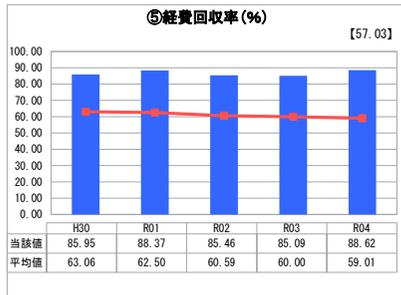
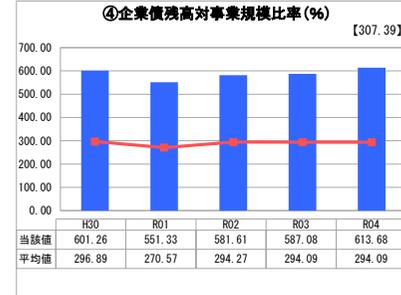
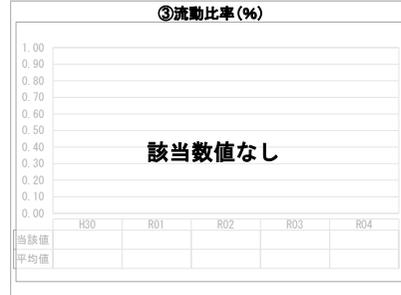
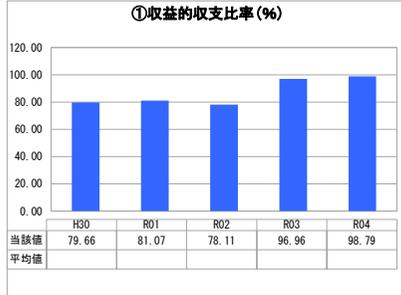
熊本県 和木町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	83.12	100.00	4,400

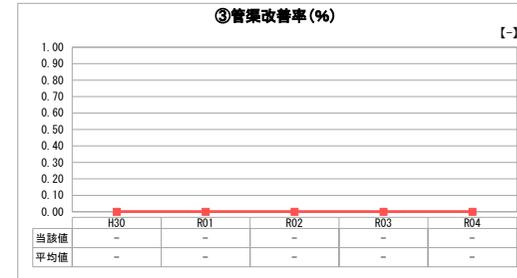
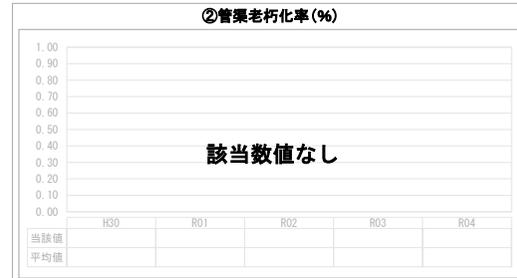
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,303	98.78	94.18
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
7,657	98.10	78.05

グラフ凡例		
■	当該団体値(当該値)	
—	類似団体平均値(平均値)	
[]	令和4年度全国平均	

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率の増加の主な要因は、維持管理費用の減少に伴うものです。
 修繕費及び保守点検委託料は、浄化槽を適正に維持管理していくうえで必要不可欠であるため、浄化槽使用料の未納者に対し、徹底して徴収に努める必要がある。
 また、企業債残高対事業規模比率及び経費回収率が年々増加傾向にあるため、使用料の見直しを計画的に行い経営改善に努めていきます。

2. 老朽化の状況について

本事業で整備を行っている合併浄化槽については、耐用年数が30年程度と見込んでいる。
 また、本事業は平成14年度に旧菊水町において取り組みを始めており、整備済みの浄化槽で耐用年数に達したものは存在しない状況である。
 将来的には、耐用年数前後を目途に施設の更新等が予測されるため、新規整備に加えて更新基盤を考慮した浄化槽設置計画を策定する必要がある。

全体総括

現在稼働している浄化槽について、ここ数年徐々に修繕費が増加傾向にあり、今後も設備の故障や修繕の増加が予想される。定期的な維持管理を徹底し、大規模な修繕等を多く出さないようにする必要がある。
 また、環境保全の点から早急な整備が求められる。そして、設置率の向上に伴い汚水処理原価の増加も抑制できるよう努める。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。